

平成26年12月19日

幕別町議会議長 古川 稔 様

民生常任委員長 谷口 和弥

民生常任委員会報告書

平成26年11月28日、本委員会に付託された事件を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

記

1 委員会開催日

平成26年12月11日（1日間）

2 審査事件

陳情第22号 「必要な介護サービスを受けられるよう求める意見書」の採択を求める陳情書

3 陳情の趣旨

平成26年6月の通常国会で「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（医療介護総合法）が可決され、要支援者の訪問介護、通所介護の介護予防給付からの切り離しなど、これまでにない負担と給付制限が加えられようとしています。また、これまでどおり介護福祉士など専門性を持った職員のサービスを継続して受けられるよう要望するものです。

また多くの介護事業所で賃金労働条件の厳しさから介護・看護職員の人手不足が深刻化していますが、特に広大な過疎地を有する北海道では、看護師など、専門職の確保は困難になってきており、併せて必要な処遇改善と国の支援を強く要望するものです。

以上の趣旨から、誰もが必要な介護サービスを受けられるように介護保険料の負担を軽減し、介護サービスの基盤整備に必要な財源を自治体に支援する必要があることから意見書の提出を求めるものです。

4 審査の経過

審査にあたっては、陳情の趣旨について論議がなされ、全会一致で結論をみた。

5 審査の結果

「採択」すべきものと決した。